【オリエンテーション資料】

JDSP カリキュラムのごあんない



障害者職業総合センター 職業センター 開発課

【ご説明内容】

- ◆ジョブデザイン・サポートプログラム(JDSP)
- ◆JDSPの目標と目的
- ◆JDSPで取り組む復職に向けた4つのテーマ
- ◆JDSPの支援サイクル
 - ・4つのテーマに沿って「学ぶ」
 - 4つのテーマに沿って「体験・実践する」
 - 4つのテーマに沿って「振り返る」
- ◆復職レポートの作成と終了報告会

【JDSPの目標と目的】

《目標》

復職後を想定した生活習慣の確立と維持

- 通所によるメリハリのある生活リズム形成
- 復職後の適切な生活習慣の形成と継続の仕組みづくり

基本的な労働習慣と基本的な業務遂行能力の確立

- 通所とプログラム参加による労働習慣の確認と向上
- 業務遂行に必要な注意力 集中力の確認と向上

休職要因の分析と再休職予防策の検討

- ・休職経緯の振返りと要因の分析
- ・ストレス対処策や体調管理方法の検討

今後の働き方の検討

- ・働くうえで大切にしたい「価値観」の理解
- ・ 再休職予防策をふまえた新しい働き方

《目的》

スムーズな復職と復職後の健康的で安定した職業生活

JDSPで取り組む 【復職に向けた4つのテーマ】

①生活習慣

適切な生活習慣の確立と継続に向けた 取組み

(睡眠・食事・運動・セルフケア)



②ストレス対処

ストレスの仕組み・対処法、怒りとうまくつき合う方法



③コミュニケーション

自分も相手も尊重したコミュニケー ション (アサーション)

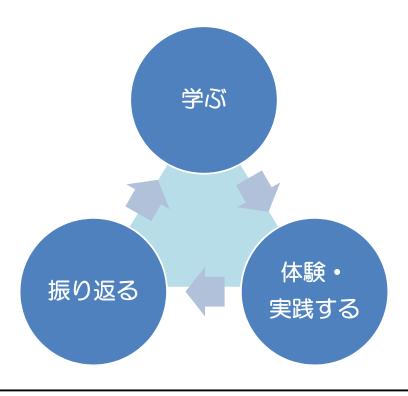


④仕事の取組み方・働き方

キャリアの理解に基づいた仕事の取組み方・働き方の再構築



【JDSPの支援サイクル】



【4つのテーマ】に沿って「学ぶ」 ~復職セミナー・各種プログラム~

はセミナー・プログラム名

①生活習慣

日常生活基礎力形成支援



運動 リフレッシュ体験

マインドフルネス



ストレス対処講習

②ストレス対処

アンガーコントロール 支援

③コミュニケーション



アサーション講座

SST

____ グループディスカッション



キャリア講習

④仕事の取組み方・働き方

【4つのテーマ】に沿って「体験・実践する」 ~職業場面・生活場面でのスキルの実用性を高める~

復職後の勤務を想定した ジョブリハーサル

- 仕事の体験・役割の体験 (キャリアについての気づき・理解)
- 学んだスキルの実践



模擬的な職場環境の中で、チームの一員として役割を担いながら、 協力してノルマを達成する。

復職後の生活を想定した 生活習慣・セルフケア

- ・「日常生活基礎力形成支援」 における行動目標の実践・継続
- ・疲労やストレスのセルフケア





JDSPの期間を通して、復職後を見据えた適切な生活習慣の形成と体調管理に取り組む。

仕事と生活のバランスを取り健康を維持して働く

【4つのテーマ】に沿って「振り返る」

~気づきや学びを深め、対処法を検討する~

各種ワークシートでの 振返り

- ◆プログラムでの気づきや 学びを整理する。
- ◆自分の状態や思考・気分を 客観的に観察・把握する。
 - 受講日誌
 - 生活記録表
 - プログラム振返りシート
 - ・行動ノート



グループワークでの 振返り

- ◆話すことで、気づきや学び を再確認し、理解を深める。
- ◆様々な価値観を理解する。
- ◆他者の視点を通して自分を 理解する。
- 毎日のミーティング
- ・プログラム後の意見交換
- 習慣化ミーティング など



個別面談での振返り

- ◆復職に向けた課題の確認と 目標設定を行う。
- ◆プログラムを通じた目標へ の取組みの進捗を確認する。
- ◆プログラムでの気づきを踏まえて、休職要因の分析~ 再休職予防策の検討を行う。
- 担当カウンセラーとの面談 (週1回)

休職経緯の振返りと対処法の検討

JDSPで理解を深める4つのテーマに 沿って、休職要因や対処方法を整理する

休職の経緯と対処方法の整理シート

【「復職レポート」の作成と終了報告会】

- ・JDSPの支援期間の後半から「復職レポート」の 作成に取り組んでいただきます。
- ・支援終了時には「終了報告会」を実施し、受講者・ 事業主・支援者で、「復職レポート」をもとに、 JDSPの取組み成果を共有します。
- ◆「復職レポート」とは・・・
- ・JDSPの受講状況、体調・健康状態や通院・服薬の現状、休職要因の分析や再休職予防策の検討結果、 今後の働き方についてまとめたものです。

